

# 介護ステーション ぶらんち ニュースレター Vol. 110

熱量が大事、と思うこの頃…

慌ただしく始まった「総選挙」が終わりました。  
自民党の圧勝でしたが、  
圧勝=責任、ですから、  
今後の有言実行を見守っていきたい、ですね。  
また、冬のオリンピックが始まっています。  
あの舞台に立てる、は  
どれだけの挫折を乗り越え、どれだけの努力を重ね、  
どれだけの応援・支援をいたいたした、その結果。  
大舞台で結果を残せるかどうか、は、また別物。  
そこには、ストレスをどう調理して、  
本番をどう自身で味わえるか。  
いつも、最近思うのは、  
選挙しかり、オリンピアの方々の言葉の熱量が凄い！こと。  
インタビューアーが、マイナスな言葉を引き出そうとしても、  
自身の言葉で、自身の熱量を発している。  
やっぱり、「言霊」ってある、と感じる日々です。  
今年はスタートから世の中が、熱量に満ちている気がしていますので、  
弊社はもちろん、私自身も自身の熱量を大事にして、  
日々の仕事に挑戦していきたい、と考えています。

## 介護業界を盛り上げよう！！

去年より提案していた下記2点が  
2026年度の予算に盛り込まれるらしい…

1:港区高齢者通院支援サービスの報酬見直し  
港区在住の介護保険制度を利用していらっしゃる方の  
通院について、港区が助成する制度。  
行きと帰りは介護保険を利用し、  
院内の待ち時間等、付き添う場合、その時間の費用  
を港区が助成してくれます。  
これって、他区では自費が多い中、港区オリジナルの  
素晴らしい制度です。  
ただ、弊社が港区でお仕事させていただいて約12年、  
報酬改定がありません。  
最低賃金もアップしていることから、  
そろそろ報酬見直しをしていただかないと、  
対応していくなくなる、と提案。  
どうやら、見直ししてくれるようです。

2:社宅借り上げ制度  
東京都で借り上げ制度という補助金があります。  
施設では入居者の数によって、  
補助する社宅数が決まっています。  
在宅は1事業所について4件まで、となっています。  
その4件という数字の決め方に違和感をもっており、  
1事業所でも抱えている利用者様の数が違うのだから、  
抱えている利用者様数によって数を決めて欲しい。  
東京都だけでなく、港区オリジナルとして補助制度を  
考えてみたら、と提案しました。検討してくれるようです。



週末も強い寒波が襲来しました



## ぶらんちの今を紹介

今、ぶらんちの仕組み作りをしています。  
報酬が劇的にアップはしない分野ですので、  
どうしたら、現場スタッフが現場に集中し、  
しなくてはいけない事務系・書類整備を  
どうしていくか。

今まででは、現場スタッフがある程度、  
事務系・書類整備も担ってきましたが、  
それは、SDGsの観点からも  
持続可能な仕組みだろうか？と。

この3月末に長年、港区で訪問介護事業を  
してきた某事業所が廃止、になります。

ここは、持続可能にしていくために、  
現場と事務系・整備系は分けて  
仕組み作りが必要な時期にきている。

現場は現場の暗黙の了解があるもの。  
それを出来る限り、見える化にすることで、  
属人的さが取り除け、「チームぶらんち」一体感が生まれると  
信じています。